

以下、本文-----

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

## ヒト絨毛性ゴナドトロピン（HCG）投与から顕微授精（ICSI）施行までの時間が胚発生に与える影響の検討

### 1. 研究の対象

2011年1月1日から2022年3月31日までに当院で施行したICSI施行症例

### 2. 研究目的・方法

#### 目的

体外受精において、ヒト絨毛性ゴナドトロピン（HCG）投与から採卵までの至適時間は一定の見解が得られているが、HCG投与から顕微授精（ICSI）までの施行までの至適時間に関しては定かではない。そこで、HCG投与からICSI施行までの時間が胚発生に影響を与えるか、ICSIの至適時間を推測する。

#### 方法

この研究に使用する情報として、診療情報から項目3に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・試料：受精卵等
- ・診療情報等：年齢、総採取卵子数、卵子成熟度、顕微授精施行症例数・施行時間、正常受精率、異常受精の有無、良性分割期胚形成率

### 4. 情報の提供先・提供方法

特になし

**5. 利益相反に関する事項**

この研究は、特定企業等からの直接的な資金提供はないため利益相反はありません。

**6. お問い合わせ先**

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：5244）

研究責任者 医学部医学科／専門診療学系産婦人科 佐藤 健二

問い合わせ担当者 医学部医学科／専門診療学系産婦人科 百瀬 美咲

-----以上